

【件名】

中野区公園再整備計画の取組（安全・安心の確保）の推進について

【要旨】

「中野区公園再整備計画」（令和４年３月策定）の「安全・安心の確保」の取組状況等について報告する。

１ 園内灯のＬＥＤ化

公園内の園内灯について、令和４年度より取組んでいるＬＥＤ化の状況は次のとおり。

（１）園内灯の状況（令和５年４月１日時点）

全園内灯数 １，０６９基

内訳 ＬＥＤ４３５基、エバーライト２３８基、水銀灯１２６基（足元灯含む）、
セラミックメタルハイドランプ（セラメタ）２０８基、蛍光灯６２基

（２）これまでの取組み、今後の予定

令和４年度 エバーライト１５４基のＬＥＤ化
（一斉工事１３６基、個別工事１８基）

令和５年度 エバーライト１２５基のＬＥＤ化

令和６年度 エバーライト１１３基のＬＥＤ化

令和７～９年度 水銀灯、セラメタ、蛍光灯、計３９６基のＬＥＤ化

※各年度の工事対象外の園内灯が不点灯となった場合も、個別にＬＥＤ化工事を実施している。

※再整備やその他公共工事に伴い、園内灯の配置等を再検討することもあるため、上記の基数は増減することがある。

2 防犯カメラの設置

公園及び地域の安心・安全な環境づくり、防犯性の向上、迷惑行為の抑止等のため、公園内の防犯カメラ設置を推進する。

(1) 防犯カメラの設置状況（令和5年11月1日時点）

28公園 71台

内訳	区管理	23公園	33台
	警備委託管理	9公園	9台（※区管理の公園と重複あり）
	指定管理者管理	4公園	29台（哲学堂公園、中野四季の森公園、 広町みらい公園、平和の森公園）

(2) 設置する公園の考え方

- ・管理者が常駐していない大きな公園や迷惑行為が目立つ公園、死角のある公園等には、優先的に防犯カメラを設置する。
- ・既に設置されている公園においても、公園規模等の状況に応じて増設を行う。
- ・樹木による遮蔽や設備条件が整わない等の物理的要因により設置できない公園や、公園内が見通せる（死角の無い）公園もあるため、設置の必要性を検討しながら進める。
- ・検討の結果、設置しない公園についても、状況を踏まえながら、必要に応じて設置を検討する。

(3) 今後の予定

令和6～9年度 各年20台程度の設置
(60～70公園に80台程度を設置)

3 公園トイレの改修

(1) トイレの設置状況（令和5年4月1日時点）

104公園 115箇所（ポケットパーク、駅前公衆トイレを含む）

(2) 取組み状況

令和4年度 全トイレにトイレットペーパーホルダーの設置（194基）
令和5年度 鷺宮運動広場・武蔵台公園でユニバーサルトイレ整備工事の実施、
工事に併せて子ども用便座を設置
大和公園（再整備計画対象）に子ども用ブースの設置を検討

(3) 今後の予定

- ・年2～3公園のトイレ整備を進める。
- ・トイレ環境の改善、利便性向上に向けた考え方について検討する。